

感染症発生状況

令和8年1月21日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年1月12日（月）～1月16日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】192名 【職員】15名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】48名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（67名）、咳鼻水（43名）、嘔気嘔吐（22名）、下痢腹痛（13名）

疾病別：胃腸炎（14名）、気管支炎・肺炎（4名）、伝染性紅斑（リンゴ病）（4名）、
溶連菌感染症（3名）

【職員】症状別：頭痛（2名）、嘔気嘔吐（2名）、熱（1名）

疾病別：インフルエンザ（4名）、胃腸炎（2名）

今週も感染症は落ち着いています。

しかし、ウイルス性胃腸炎が少しずつ増えています。

吐物と糞便の消毒処理は次亜塩素酸ナトリウムをお願いします。

【疾病別の発生状況】

胃腸炎

厨川地区、河南地区で増加しました。

気管支炎・肺炎

盛南地区で増加しました。

伝染性紅斑（リンゴ病）

都南地区で増加しました。

溶連菌感染症

河北地区、都南地区で増加しました。河南地区で減少しました。

【県の状況（1/5～1/11）】

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が2例ありました。侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

水痘（入院例）の報告が2例ありました。梅毒の報告が1例ありました。百日咳の報告が1例ありました。

水痘の定点当たり患者数は2.30人となり、警報値（2.0人）を超えました。二戸、中部地区で特に報告が多くなっています。水痘はいわゆる「みずぼうそう」のことで、主に小児の疾患ですが、まれに成人でも感染する場合があります。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。予防にはワクチン接種が有効です。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は増加し、1.15人となりました。宮古、釜石、中部、一関地区で警報値（2.0人）を超えています。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症で、微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

インフルエンザの定点当たり患者数は増加し、5.71人となりました。年齢階層別では全体の約8割が10代以下となっています。県環境保健研究センターの検査では、AH3亜型及びAH1pdm09亜型が検出されています。手洗い、手指消毒、咳エチケット等基本的な感染予防対策が重要です。症状がある場合は、感染を広げないようにマスクを着用のうえ受診をしましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】